

玉川少年野球親睦リーグ規定・修正

玉川少年野球親睦会

1. 試合規則はグラウンドルールで特に決められた以外は公認野球規則及び全日本野球連盟のルールによる。
2. 監督、又は主将、当該選手以外の抗議は認めない。尚、審判のジャッジに対して抗議することはできない。
3. 選手や審判に対し「汚いやじ」や「悪意ある態度」をとった場合、審判員は直ちに退場を命ずる事が出来るものとする。
4. チームの選手登録はしないこととし、ベンチ内選手人数の規定はない。クラス追加登録は5月の親睦コーチ会議までとする。
5. 本年度の下記抽選結果の登録順の**若い番号が1塁側ベンチ、後番号が3塁側ベンチに入る。**
6. 原則、試合開始時間の30分前に球場に集合し、スターティングメンバー票2部を球審に提出する。
その際球審立会いの下、両チームキャプテン又は選手代表者により「ジャンケン」で先攻／後攻を決める。
7. 試合開始は球審が【プレイ】を宣言したとき。
8. 試合は7回戦とし、コールドゲームは、1回30点、2回20点、3回以降10点、5回以降7点差が生じた場合。
但し、1時間20分を経過したら新しいイニングに入らない。同点の場合は、両チーム引分けとし再試合は行わない。また、試合が終了出来ない場合、グラウンドの状況によって継続可能。継続不可の場合、攻守同状態で早期に継続試合を行う「特別ルールとして、元の試合でメンバー表に記載されていない選手及び一度退いた選手も出場できる」。尚、Cチームは、5回戦で終了とし、コールドゲームは、1回30点、2回20点、3回以降10点、4回以降7点差が生じた場合。
9. 試合中に天候が急変し試合連続不可能を判断されたとき、4イニングを経過した場合にはその時点の得点により勝敗を決定する。尚、Cチームは、3イニングとする。
10. Aチーム、Bチーム(5年生以下)の投手の投球距離(投球板と本塁間)は16mとする。但しBチームで4年生以下の投手の場合はメンバー票提出時に監督が球審に伝える。その場合14mとすることが出来る。
Cチーム(4年生以下)の投手の投球距離(投球板と本塁間)は14mとし、塁間は21mとする。
11. 投手は初回(救援含む)に限り、一分以内を限度として7球以内の準備投球が許される。次回からは3球以内とする。
12. ファールボールが1塁側へ飛んだ場合は1塁側ベンチチームが、3塁側へ飛んだ場合は3塁側ベンチチームが、バックネット裏に飛んだ場合は基本攻撃側チームが取りに行く。
13. 攻守交替は、ピッチャー以外は駆け足で行うこと。
14. 打者はヘルメットを着用しバッターボックスに入ること。次打者はヘルメットを着用し、次打者席に入り、**立った姿勢で待ち、バットは下に向けておく(尚、低い姿勢で待つことも構わない)。**
15. キャッチャーのファールカップ着用においては、各チーム対応のこと。
16. 参加各チームは原則として、1試合に2名の審判員を出すものとする。試合球は各チーム2個を球審に渡す。
17. 試合の消化は基本次の基準で消化すること。「6月末30% 7月末40% 8月末50% 9月末60% 10月末80%」但し、11月最終日曜日の代表者会議前日までに未消化の場合は、**原則**没収試合とし両チーム敗戦とする。
18. 11月最終日曜日開催の代表者会議前日までに各チーム全試合を終了すること。第1順位決定方法は勝率制で行う。
勝率計算は、 $\text{勝率} = \text{勝利数} \div (\text{勝利数} + \text{敗戦数})$ とし、引分けは試合数に含めない。
但し、同率チームが複数チームになった場合、下記の優先順位で順位を決定する。
 1. 全勝利数が多いチームを前順位とする。
 2. 全敗戦数が少ないチームを前順位とする。
 3. 当該チーム同士の対戦勝利数が多いチームを前順位とする。
 4. 当該チーム同士の対戦成績で勝った方を前順位とする。
 上記3で決まらない場合は、同順位とする。尚、0勝で全試合引分けの場合、勝率はゼロとする。

19. 服装規定、選手及び監督・コーチは、チームユニフォームを着用のこと、又試合を担当する審判員は原則審判服を着用のこと。
20. 順位は、11月最終日曜日開催の代表者会議にて全チームが合意し、最終決定する。
如何なる場合も以降の順位変更は、一切認めないものとする。
21. **球数制限及び試合中の投手は、他の守備に付いたら再び投手に戻れない関連は連盟大会の規定と同様とする。**（基本規定項目を下記に列記、その他については連盟規定を参照）
 - ① 1日70球以内とする（低学年は60球）。